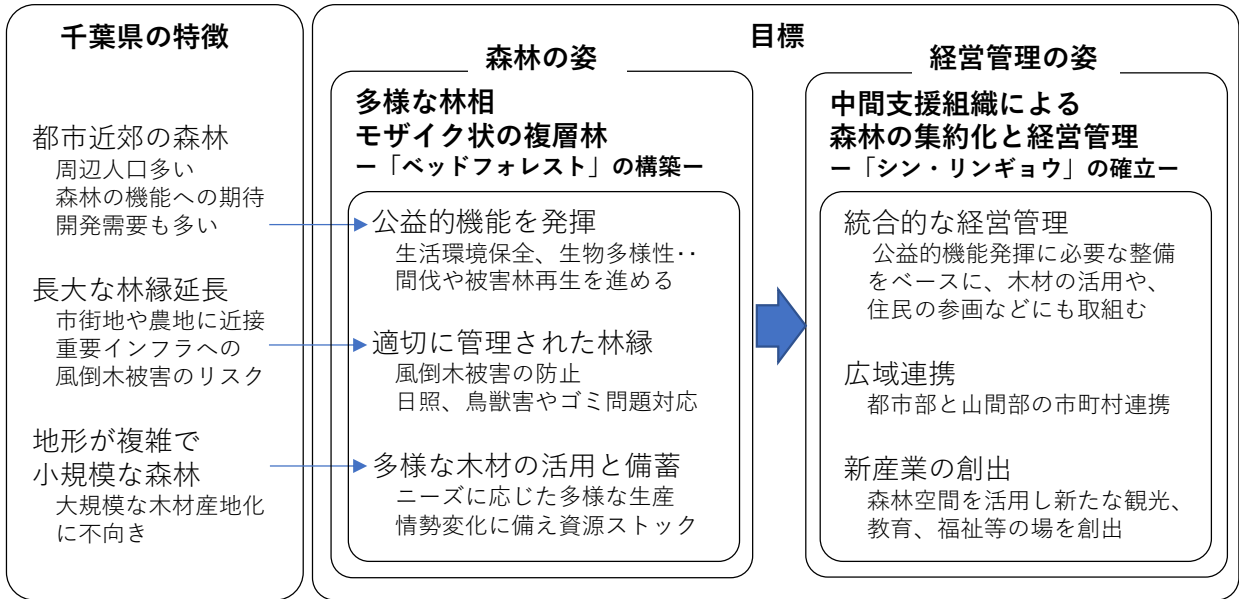


「（仮称）ちば森林づくり計画」の策定に向けて（概要）

（千葉県型の森林経営管理体制の構築について）

背景 森林環境譲与税の導入 → 市町村が森林整備を進める必要
 令和元年台風被害の発生 → 重要インフラへの風倒木が課題
 木材への関心の高まり → 木材生産の採算性確保は依然として困難

➡ 目指すべき森林の姿、森林の経営管理の姿を示した計画を策定する



森林の集約化：地域の森林を一括して管理できるよう、森林の状況を把握し地権者の合意形成を図ること。

森林の経営管理：適切な森林の施業や活用、保全や管理について主体的に意思決定し実行すること。

中間支援組織（千葉県森林経営管理協議会）の活動の方針

予算：森林環境譲与税による森林整備の推進（国庫補助での実施困難な切捨て間伐等にも充当）
 人材：技術者の計画的育成と人材確保（組織内の人材育成と外部人材との連携）
 計画：地域の実情に沿った実行計画の作成（森林の規模等を把握し実行可能な具体的な計画を作成）
 技術：ICTを活用した森林資源の把握（レーザー測量等による情報収集と管理の手法の確立）

千葉県型の森林経営管理体制の構築

